

保護者 様

平成 30 年度全国学力・学習状況調査から見える吉田町の児童生徒について
(教科に関する調査結果・生活習慣や学習環境等に関する調査結果)

平成 30 年 11 月 1 日
吉田町教育委員会

吉田町教育委員会では以下の目的により、平成 26 年度から全国学力・学習状況調査の結果を公表してまいりました。

結果公表の目的

児童生徒の学力・学習状況における課題を共有し、生活習慣や家庭学習の改善を推進する。また補充学習の充実を図る。

本年度におきましても、文部科学省から提供された調査結果を基に、教育委員会及び各学校において、分析・検証を行いましたので、結果をお知らせいたします。

調査結果から見えたそれぞれの課題については、調査結果を分析し、日々の授業改善に生かすことにより早期に対応してまいります。今後も学校・家庭・地域が一体となって児童生徒の学力の向上に取り組んでいきたいと考えておりますので御理解・御協力をお願いいたします。

なお、次の点について御承知くださるようお願いいたします。

- ・この調査により測定できるのは、学力の特定の一部であること
- ・学校別結果の公表に当たっては公表する内容や方法等について、学校と事前に十分な相談を行っていること

公表資料に関する問い合わせ先

担当 学校教育課
電話 33-2151
FAX 33-2155

1 調査の概要

(1) 目的（文部科学省のねらい）

- ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ウ ア、イのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日

平成 30 年 4 月 17 日(火)

(3) 吉田町の実施学校数及び実施児童生徒数

- ア 小学校
3 校（住吉小学校・中央小学校・自彊小学校） 児童数 308 人（第 6 学年）
- イ 中学校
1 校（吉田中学校） 生徒数 260 人（第 3 学年）

(4) 調査内容

- ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）※理科は 1 種類
 - (ア) A問題（主として「知識」）
 - (イ) B問題（主として「活用」）
- イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - (ア) 児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
 - (イ) 学校に対する調査（指導方法に関する取組や教育条件の整備の状況等）

2 調査結果の概要

吉田町の全体的な成果、課題

(1) 成果

- ア 小学校において、理科の平均正答率が全国及び県を上回った。
- イ 中学校において、国語の B 問題の平均正答率が全国を上回った。

(2) 課題

- ア 小学校においては、国語と算数の平均正答率が全国及び県を下回った。
- イ 中学校において、理科の平均正答率が全国及び県を下回った。
- ウ 本年度の中学校 3 年生の全国との平均正答率は、当該学年の生徒が小学校 6 年生であった際の全国との平均正答率と比べて、低下している。

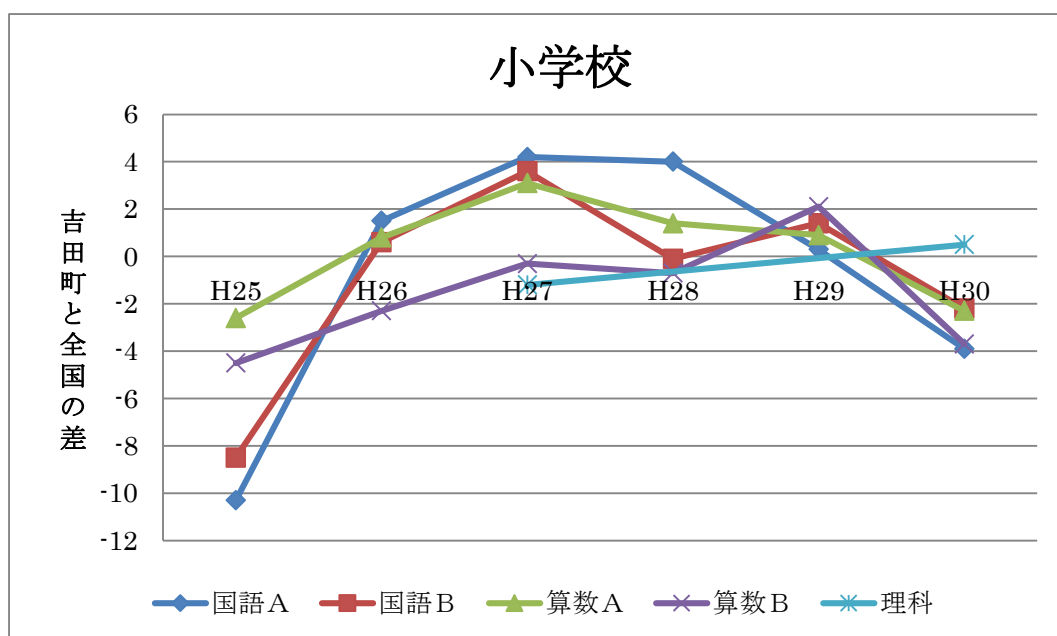
3 吉田町の教科に関する調査結果（全国との平均正答率の差）

(1) 小学校第6学年の教科に関する調査結果

区分	平成30年度				平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	全国	静岡県	吉田町	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差
国語A	70.7	69.4	66.8	-3.9	+0.3	+4.0	+4.2	+1.5	-10.3
国語B	54.7	55.5	52.5	-2.2	+1.4	-0.1	+3.6	+0.6	-8.5
算数A	63.5	62.9	61.2	-2.3	+0.9	+1.4	+3.1	+0.8	-2.6
算数B	51.5	50.9	47.8	-3.7	+2.1	-0.7	-0.3	-2.3	-4.5
理科	60.3	60.0	60.8	+0.5			-1.2		

平均正答率(%)

※経年比較を詳細に行うために、小数点以下の数字については、国及び県と同様の方法で吉田町教育委員会において算出。



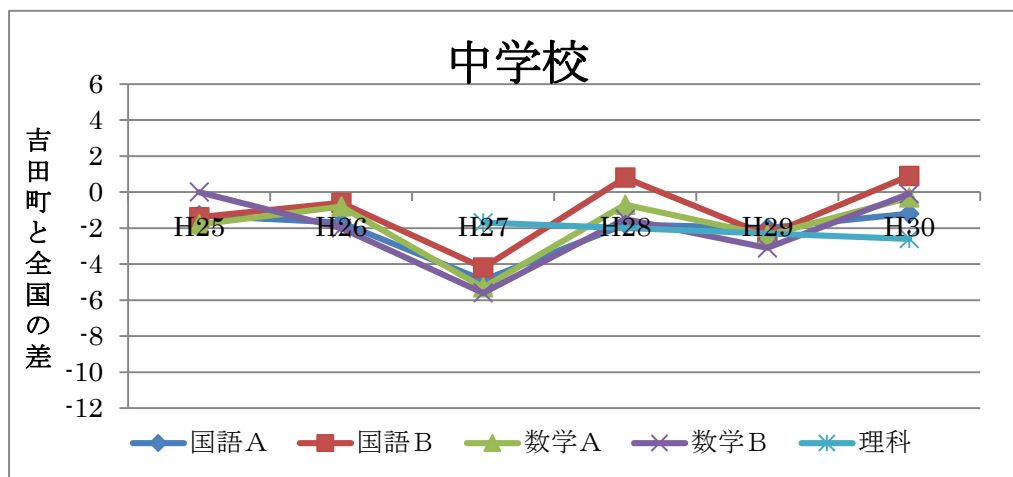
※理科の調査は3年おきに実施（実施は平成27年度から）

(2) 中学校第3学年の教科に関する調査結果

区分	平成30年度				平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	全国	静岡県	吉田町	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差
国語A	76.1	77.6	75.2	-0.9	-2.0	-1.8	-4.9	-1.7	-1.3
国語B	61.2	62.9	62.1	+0.9	-2.4	+0.8	-4.2	-0.6	-1.4
数学A	66.1	67.9	65.8	-0.3	-2.4	-0.7	-5.3	-0.8	-1.8
数学B	46.9	49.1	46.8	-0.1	-3.1	-1.5	-5.6	-2.0	±0
理科	66.1	67.7	63.5	-2.6			-1.7		

平均正答率(%)

※経年比較を詳細に行うために、小数点以下の数字については、国及び県と同様の方法で吉田町教育委員会において算出。

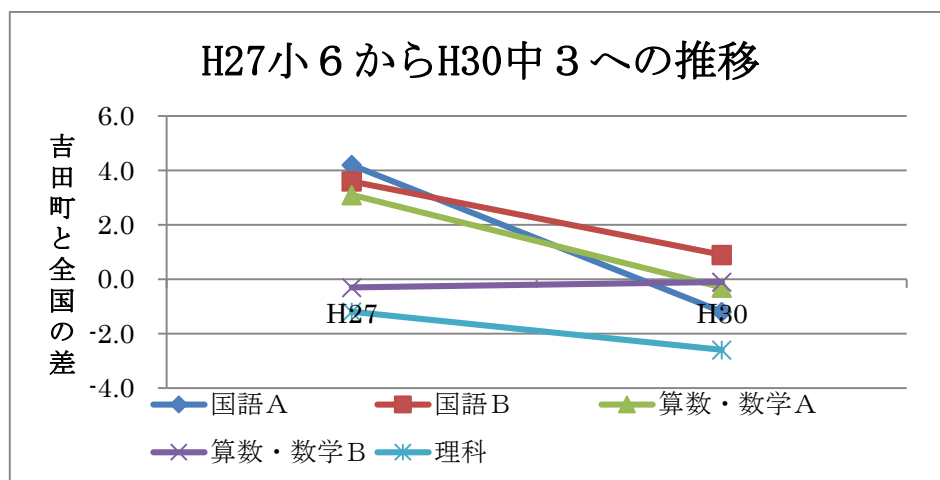


※理科の調査は3年おきに実施（実施は平成27年度から）

(3) 平成27年度小学校第6学年から平成30年度中学校第3学年への推移

区分	平成27年度(小学6年生)			平成30年度(中学3年生)		
	全国	吉田町	全国との差	全国	吉田町	全国との差
国語A	70.0	74.2	+4.2	76.1	75.2	-0.9
国語B	65.4	69.0	+3.6	61.2	62.1	+0.9
算数・数学A	75.2	78.3	+3.1	66.1	65.8	-0.3
算数・数学B	45.0	44.7	-0.3	46.9	46.8	-0.1
理科	60.8	59.6	-1.2	66.1	63.5	-2.6

平均正答率(%)



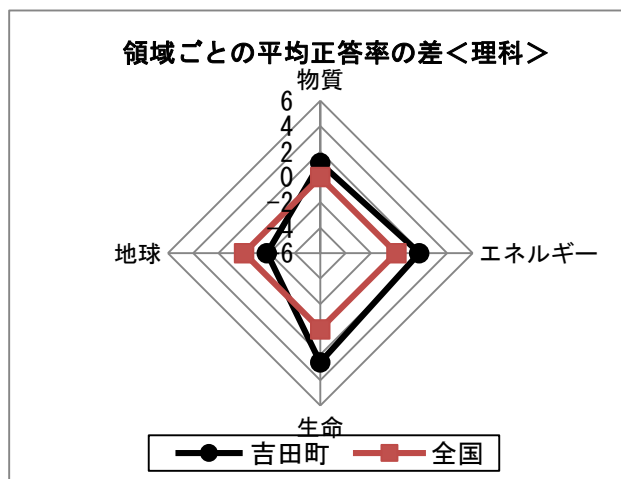
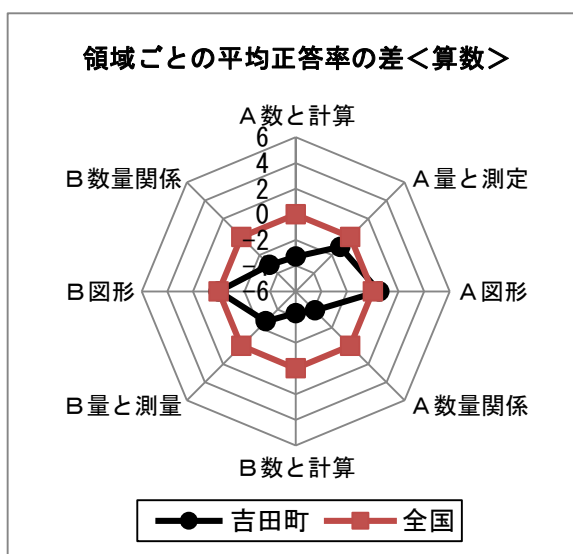
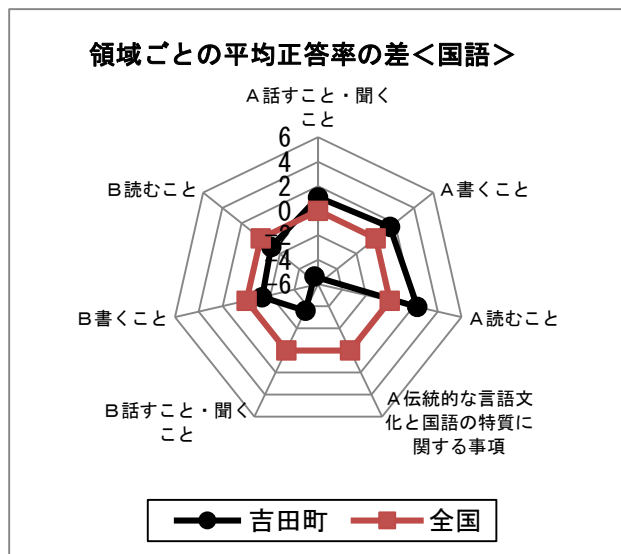
(4) 吉田町全体の教科ごとの分析結果

ア 小学校

(ア) 成果と課題

国語	<p>○A問題において、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の領域の平均正答率が全国を上回った。</p> <p>●A問題において、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。様々な学習場面で主語と述語を意識することが必要である。また、B問題において、全ての領域で全国平均を下回っており、さらなる取組の充実が求められる。</p>
算数	<p>○A問題、B問題ともに、「図形」の領域の平均正答率が全国を上回った。</p> <p>●A問題、B問題ともに、「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」の領域の平均正答率が全国よりも低い。特に、「量と測定」の領域の「混みぐあい」の比べ方の理解の平均正答率が低い。日常生活の中の様子を取り入れた活動を取り入れるなど、数量関係の理解の向上を図る指導の充実が求められる。</p>
理科	<p>○前回、理科の調査があった平成27年度と比較すると、全国の平均正答率を0.5ポイント上回り、改善傾向が見られる。「物質」「エネルギー」「生命」の領域の平均正答率が全国を上回った。</p> <p>●「地球」の領域に課題が見られる。流れる水の地面を削ったり、土や石を運んだり、流されてきた土や石を積もらせたりする働きについての科学的な言葉や概念を理解させる活動が求められる。</p>

(イ) 各領域の状況



(ウ) 課題となる問題

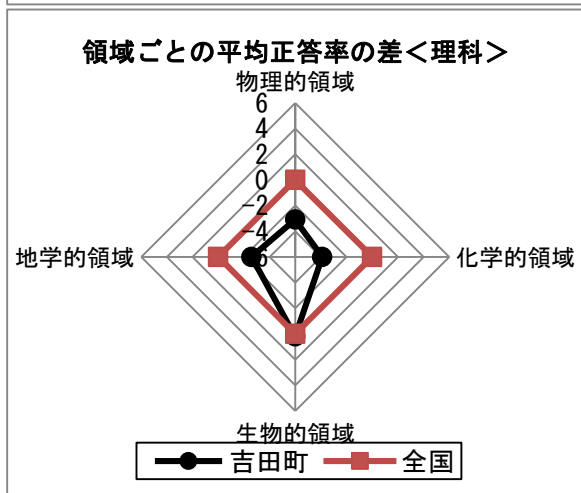
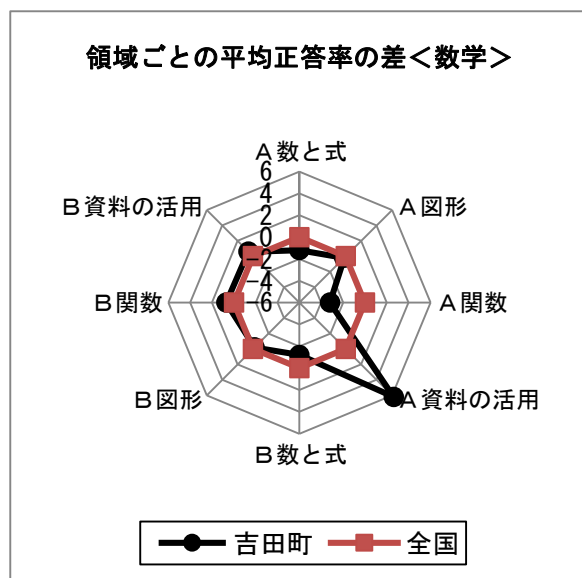
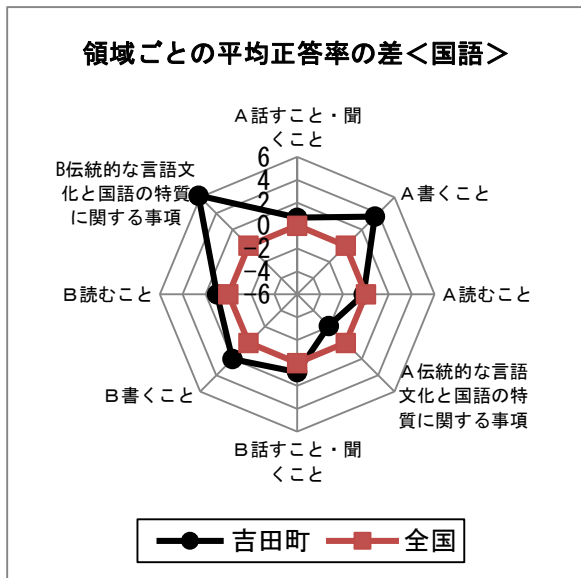
小学校	問題番号	平均正答率(%)			設問の概要	出題の趣旨
		吉田町	全国	差		
国語	A5	26.9	35.5	-8.6	つながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く
	B1一	79.5	82.5	-3.0	登場人物の発言の意図として、適切なものを選択する	話し合いの参加者として、質問の意図を捉える
	B1二	73.4	77.5	-4.1	登場人物の発言の役割として、適切なものを選択する	計画的に話し合うために、司会の役割について捉える
算数	A4(1)	77.3	87.8	-10.5	面積がそろっている二つのシートの込み具合について、正しいものを選ぶ	異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの込み具合の比べ方を理解している
	A9	55.5	63.6	-8.1	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ	折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる
	B3(1)	13.6	20.7	-7.1	メモ1、メモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる
理科	2(1)	69.2	83.6	-14.4	流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ	地籍作用について、科学的な言葉や概念を理解している
	2(3)	18.2	20.1	-1.9	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる
	4(4)	32.5	35.9	-3.4	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く	実験結果から言えることばかりに言及した内容に改善し、その内容を記述できる

イ 中学校

(ア) 成果と課題

国語	<p>○A問題において、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の平均正答率が全国を上回った。</p> <p>●A問題において、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の平均正答率が全国を下回った。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるような活動を取り入れる必要がある。</p> <p>○B問題において、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全領域の平均正答率が、全国を上回った。</p>
数学	<p>○A問題において、「資料の活用」の領域の平均正答率が全国よりも高い。</p> <p>●A問題において、「関数」の領域の平均正答率が低い。「関数」の問題は過去にも出題されており、今回調査と同様に正答率が低い。ここ数年、同様の傾向が繰り返されており、2つの数量の関係に関数関係を見いだし、変化を考えさせるなど、引き続き指導方法の見直しが必要である。</p>
理科	<p>○「生物的領域」の平均正答率が全国よりも高い。</p> <p>●「電流・電圧と抵抗」の平均正答率が全国よりも低い。金属線に加わる電圧と電流を測定する実験を行い、電圧と電流の関係を見いだすとともに金属線には電気抵抗があることを見いだすことに課題が見られる。実験結果を事実としてそれを根拠に考察を述べたりするような活動を取り入れる必要がある。</p>

(イ) 各領域の状況



(ウ) 課題となる問題

中学校	問題番号	平均正答率 (%)			設問の概要	出題の趣旨
		吉田町	全国	差		
国語	A8三才	49.2	61.8	-12.6	適切な語句を選択する(意見の折り合いをつける)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う
	A8六2	50.0	63.0	-13.0	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む
	B1三	11.2	13.3	-2.1	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く
数学	A4(1)	60.4	67.1	-6.7	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ	ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している
	A11(1)	38.8	45.3	-6.5	一次関数 $y=2x+7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	一次関数 $y=ax+b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる
	B2(2)	32.7	37.5	-4.8	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる
理科	2(2)	68.8	76.5	-7.7	水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	濃度が異なる食塩水のうち、濃度が低いものを指摘できる
	6(2)	41.5	51.9	-10.4	電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる
	7(1)	45.0	55.1	-10.1	地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている

4 吉田町の生活習慣や学習環境に関する調査結果（全国との平均正答率の差）

(1) 吉田町の全体の結果

ア 全国よりも肯定的な回答が特に高い事項

<小中学校共通>

設 問	小中	全国	吉田町
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	小	67.6%	73.4%
	中	52.1%	66.2%
家で、学校の授業の予習・復習をしている	小	62.6%	85.1%
	中	55.2%	71.9%
今住んでいる地域の行事に参加している	小	62.7%	72.1%
	中	45.6%	78.1%
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている	小	75.2%	80.8%
	中	58.5%	75.0%

<小学校>

設 問	全国	吉田町
学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	66.2%	86.3%
地域社会などでボランティア活動に参加したことがある	36.1%	49.0%

<中学校>

設 問	全国	吉田町
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	59.3%	76.2%
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	38.7%	55.4%

イ 全国よりも肯定的な回答が特に低い事項

<小学校>

設 問	全国	吉田町
5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った	87.5%	75.7%
5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができた	75.1%	64.0%
将来の夢や目標を持っている	85.1%	77.3%
理科の勉強は好きだ	83.5%	76.7%
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	78.4%	71.7%

<中学校>

設 問	全国	吉田町
数学の授業の内容はよく分かる	71.0%	66.5%
地域社会などでボランティア活動に参加したことがある	51.8%	47.3%
理科の授業の内容はよく分かる	70.0%	65.7%
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい	22.2%	18.5%

(2) 吉田町の分析結果及び今後の対応

ア 小学校

分析結果	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・家で、学校の授業の予習・復習をしている 【全国 62.6%, 吉田町 85.1%】 ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 【全国 66.2%, 吉田町 86.3%】 ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある 【全国 36.1%, 吉田町 49.0%】 ・予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしている 【全国 69.9%, 吉田町 80.2%】 ・今住んでいる地域の行事に参加している 【全国 62.7%, 吉田町 72.1%】 ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている 【全国 67.6%, 吉田町 73.4%】 ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている 【全国 75.2%, 吉田町 80.8%】
	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験を行うことは好きだ 【全国 89.8%, 吉田町 84.4%】 ・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えることがある 【全国 64.7%, 吉田町 59.1%】 ・理科の問題について、すべての書く問題で最後まで書こうと努力した 【全国 77.3%, 吉田町 71.1%】 ・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える 【全国 78.4%, 吉田町 71.7%】 ・理科の勉強は好きだ 【全国 83.5%, 吉田町 76.7%】 ・将来の夢や目標を持っている 【全国 85.1%, 吉田町 77.3%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（国語B） 【全国 74.7%, 吉田町 65.6%】 ・5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができた 【全国 75.1%, 吉田町 64.0%】 ・5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った 【全国 87.5%, 吉田町 75.7%】 ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている 【全国 77.0%, 吉田町 70.8%】
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業では、「自然事象に対する気付き」「問題を見いだす」「予想や仮説を立てる」「実験に取り組む」「結果を整理・考察」という過程を充実させ、子どもの興味・関心を高めるような授業展開を工夫する。 ・理科の授業と自然の事物・現象とを結びつけて捉えることができるような問題に取り組ませたり、実験結果を自然の事物・現象と結びつけたりするような考察のさせ方を大切にする。 ・問題数が多くても、すべての問題が終わるまで努力したり、解き方が分からない問題が出題されても諦めずにいろいろな方法を考えたりするような粘り強さをいろいろな場で指導し、子どもに身に付けさせていく。 ・子どもが「将来の夢や目標をもつ」ことができるように、教師がキャリア教育を中心にしながら、指導をしていく。 ・毎日、決まった時刻に寝たり、起きたりするような規則正しい生活習慣ができるよう家庭に呼びかける。 	

イ 中学校

分析結果	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自分には、よいところがあると思う 【全国78.8%, 吉田町85.8%】 ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う 【全国82.2%, 吉田町90.0%】 ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている 【全国74.2%, 吉田町79.6%】 ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている 【全国52.1%, 吉田町66.2%】 ・家で、学校の宿題をしている 【全国91.6%, 吉田町98.5%】 ・家で、学校の授業の予習・復習をしている 【全国55.2%, 吉田町71.9%】 ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり30分以上、読書をしている（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 【全国30.9%, 吉田町41.9%】 ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしている 【全国76.0%, 吉田町82.7%】 ・今住んでいる地域の行事に参加している 【全国45.6%, 吉田町78.1%】 ・地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある 【全国59.3%, 吉田町76.2%】 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある 【全国38.7%, 吉田町55.4%】 ・地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある 【全国25.5%, 吉田町32.0%】 ・数学の勉強は大切だ 【全国83.6%, 吉田町89.6%】 ・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える 【全国70.3%, 吉田町76.1%】 ・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える 【全国38.7%, 吉田町53.5%】 ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う 【全国72.9%, 吉田町82.7%】 ・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている 【全国70.4%, 吉田町76.9%】 ・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている 【全国80.6%, 吉田町90.0%】 ・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えることがある 【全国45.4%, 吉田町53.4%】 ・理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている 【全国41.4%, 吉田町50.8%】 ・理科の授業では、理科室で観察や実験を月1回以上行っている 【全国87.1%, 吉田町97.3%】 ・観察や実験を行うことは好きだ 【全国82.1%, 吉田町91.1%】 ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている 【全国58.5%, 吉田町75.0%】 ・理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している 【全国72.3%, 吉田町88.4%】 ・理科の授業で、観察や実験の進め方が間違っていないか振り返って考えている 【全国59.0%, 吉田町72.3%】 ・1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う 【全国73.8%, 吉田町82.4%】 ・1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う 【全国53.8%, 吉田町60.4%】 ・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている 【全国76.3%, 吉田町85.4%】
	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・調査問題の解答時間は十分だった（数学B） 【全国73.5%, 吉田町58.5%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（理科） 【全国92.3%, 吉田町83.8%】
今後の対応		<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン等の使い方について、6月に実施した専門家を招いての情報モラル講演会とその後に行った学級懇談会を受け、2学期においても教育相談、三者面談、学級懇談会において話題にしていき、家庭と連携しながら生徒の生活改善に取り組む。 ・帰りの会で毎日行っている家庭学習計画を立てる取組について、継続していく。特に、期末テスト前の時期には、学習内容や方法が具体的につかめるよう、Must Do Listを作成し、生徒に主体的に学習に取り組ませる。 ・学力づくり部会が中心となり、家庭学習において何が学習時間の確保の妨げになっているかの実態をつかみ、2学期にも同様の調査を行うことにより経過を把握して、指導に生かす。 ・11/14の町全体研修会を目標としながら、生徒の追究過程や振り返りの段階を大切に授業改善を進め、生徒の学びの定着を目指す。 ・全職員が、学力調査問題を実際に解き、求められている学力観をつかむ機会を持ち、自分の教科（授業）における展開方法を議論する機会を設定する。また、全国学力調査の過去問題を授業等で取り上げるなど、生徒が長文の問題に慣れる機会を設定する。

5 学校別 調査結果及び分析結果と今後の対応

(1) 小学校

ア 住吉小学校（教科に関する調査結果）

科目	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
平均正答率 (%)	69%	57%	63%	49%	63%
分析結果	<p>【成果】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や週末における家庭学習課題（以下「週末課題」）において、文の構成を意識した指導を行ったことにより、目的や意図に応じて文章全体の構成を考えたり、内容の中心を明確にして書いたりする力が伸びている。 ・学校司書と連携し、読書指導などの言語環境を充実させたことや、国語での言語活動を確実に行ってきたことにより、登場人物の心情について、情景描写を基にとらえる力が向上した。 ・毎日、新聞を読む時間や、週末課題で様々な文章に触れる場を設定したことにより、目的に応じて必要な情報をとらえる力が伸びた。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使い、操作活動を大切に単元構想を組んだことにより、図形の構成要素や性質などに着目して考える力が向上した。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末にプリントを活用し定着を図ったことにより、着実に力がついている。 ・毎時間の振り返りなどへの個々のノート指導を徹底したことにより、自分の考えをまとめたり表現したりする力がついた。 <p>【課題】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章に合わせて、正しく漢字を書く力が弱い。 ・物語の文章全体の構成やその効果について理解していない。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数の除法の意味を正しく理解していない。 ・規則性を見つけ、その規則性を生かして考える力が弱い。 ・複数のグラフを関連づけて考えたり表現したりする力が弱い。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆積作用について科学的な言葉や概念を正しく理解していない。 				
今後の対応	<p>【基礎学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な条件に合わせて正しく漢字を書くために、家庭学習において文章に合わせて漢字を書く指導を改善したり、テストの形式を変更したりする。 ・基礎学力を定着するために、朝の活動の計算テストを利用したり、「数と計算」領域の授業の中で、計算問題をまとめとして出したりすることで、定着を図る。 ・継続して、単元末にプリントで定着を図り、授業の振り返りも行う。 <p>【読む力、書く力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明文や物語の構成を理解するために、授業で、文章構成の効果について取り上げる。また、週末課題などで文章構成を意識した文章を書かせる。 <p>【根拠をもとに考える力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で違いや共通点を見つけたり、規則性を見つけたりする目を養う。 ・複数のグラフを関連づけて考えたり表現したりする力を育てるために、発展問題としてグラフ等を読み解く問題に取り組みさせる。 ・根拠をもって友達と対話する場を設ける。 				

住吉小学校（生活習慣や学習環境等に関する調査結果）

分析結果	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・家で計画を立てて学習をしていますか 【全国 67.6%、住吉小 75.0%】 ・家で、学校の授業の予習・復習をしていますか 【全国 62.6%、住吉小 87.5%】 ・家で予習や復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしていますか 【全国 69.9%、住吉小 77.1%】 ・5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか 【全国 74.4%、住吉小 80.2%】 ・今住んでいる地域の行事に参加していますか 【全国 62.7%、住吉小 76.1%】 ・地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか【全国 63.8%、住吉小 72.9%】 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができますか 【全国 49.9%、住吉小 56.3%】 ・地域社会などで、ボランティア活動に参加したことがありますか 【全国 62.6%、住吉小 88.5%】 ・新聞を読んでいますか 【全国 19.9%、住吉小 30.3%】 ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えていますか 【全国 64.4% 住吉小 73.0%】 ・自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか 【全国 87.0%、住吉小 92.7%】 ・理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらいおこないましたか 【全国 89.1% 住吉小 95.9%】 ・理科の授業では、自分の予想のもとに観察や実験の計画を立てていますか 【全国 75.2% 住吉小 88.6%】 ・理科の授業では、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返って考えていますか 【全国 68.1%、住吉小 77.0%】 ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。 【全国 77.7%、住吉小 83.4%】 ・調査時間の解答時間は十分でしたか(算数A) 【全国 80.3 %、住吉小 87.5%】
	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・算数の勉強は好きですか 【全国 64.0%、住吉小 55.2%】 ・算数の授業で新しい問題に出合った時、それを解いてみたいと思いますか 【全国 74.3%、住吉小 57.3%】 ・理科の勉強は好きですか 【全国 83.5%、住吉小 66.7%】 ・理科の勉強は、大切だと思いますか 【全国 85.4%、住吉小 76.0%】 ・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか 【全国 64.7%、住吉小 59.4%】 ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか【全国 26.1%、住吉小 18.8%】 ・観察や実験を行うことは好きですか 【全国 89.8%、住吉小 81.2%】 ・家の人と学校での出来事について話をしますか 【全国 80.5%、住吉小 69.8%】 ・5年生の時理科の授業がおもしろいと思いましたか 【全国 87.5%、住吉小 66.7%】 ・5年生の時、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか 【全国 75.1%、住吉小 57.3%】 ・調査時間の解答時間は十分でしたか(算数B) 【全国 66.0 %、住吉小 58.3%】 ・調査時間の解答時間は十分でしたか(理科) 【全国 90.1 %、住吉小 77.1%】
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・意識が高かった家庭学習や新聞を読む取り組みは、継続していく ・つけたい力へつなげる対話を大切にした研修を引き続き行う ・算数や理科の勉強が好きになるよう、日常生活とつながる主体的に取り組める単元構想や課題設定の工夫を行う ・委員会を中心に読書活動を活性化させ、読む力やスピードをつける 	

イ 中央小学校（教科に関する調査結果）

科目	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
平均正答率 (%)	64%	51%	61%	47%	60%
分析結果	<p>【成果】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたいことや自分が想像したことを表現する問題はできている。 ・物語文において、登場人物の心情の読みとりができています。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識」「活用」とも、「図形」領域については、他の領域に比べると全国と差がない。 ・全国や県と比べると、記述式の問題においても無回答率が低い。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エネルギー」「生命」領域の学習内容は定着が見られる。 ・授業の中で扱った実験の操作や実験の改善方法については、全国に比べると定着が見られる。 <p>【課題】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的、意図に応じて、言葉を選んだり、文章を構成したりすることがあまりできていない。特に、内容の中心を明確にして詳しく記述したり、自分の意見と比べて考えをまとめたりするなど、条件に合わせて記述する力が弱い。 ・文中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くことができていない児童が多い。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表に示された数字が意味することを読み取ったり、折れ線グラフから変化の特徴を読み取ったりする問題で正答率が低い。 ・示された複数の情報を関連付けて解釈したり、示された数量を関連付けて根拠を示したりすることが苦手である。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識」に関する問題での正答率が低い。特に、日常生活であまり触れない科学的な言葉や概念への理解が不足している。 ・実験結果を基にして分析・考察したことを記述することや示された結論を妥当なものに改善し記述するなどの、「記述式」の問題形式での正答率が低い。 				
今後の対応	<p>【複数の資料から読み取る力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料から自分が必要とする情報を的確に選び、その妥当性を検討し合うことを通して問題を解決する学習を増やす。 ・表やグラフなどから得られる情報を確実に押さえ、複数の情報を関係付けることで解決できる課題を設定する。 <p>【相手の意図を捉える力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換や話し合いの中で、相手の発言や意見がどのような思いや立場を基にしているのかを確認する機会をつくる。 <p>【目的や意図に応じて書く力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く対象や自分の立場を明確にして、自分の考えをまとめて表現する機会を多く設定する。 ・自分が記述した文章について、主語と述語の関係などが適切なものになっているかを、振り返りながら書くように指導する。 				

中央小学校（生活習慣や学習環境等に関する調査結果）

分析結果	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強する（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 【全国 66.2%、中央小 91.1%】 ・家で、学校の授業の予習・復習をしている 【全国 62.2%、中央小 83.0%】 ・算数の勉強は好きだ 【全国 64.0%、中央小 76.2%】 ・予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしている 【全国 69.9%、中央小 81.0%】 ・算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う 【全国 74.3%、中央小 85.1%】 ・算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている 【全国 80.4%、中央小 91.2%】 ・理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている 【全国 54.6%、中央小 62.6%】 ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている 【全国 75.2%、中央小 82.3%】 ・理科の勉強は好きだ 【全国 83.5%、中央小 89.8%】 ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した 【全国 61.0%、中央小 66.7%】 ・5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う 【全国 76.7%、中央小 82.3%】 ・理科の授業で、観察や実験の進め方が間違っていないか振り返って考えている【全国 68.1%、中央小 73.5%】 ・算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている 【全国 85.8%、中央小 91.2%】 ・今住んでいる地域の行事に参加している 【全国 62.7%、中央小 68.1%】 ・家で、自分で計画を立てて勉強している 【全国 67.6%、中央小 72.8%】 ・毎日、同じくらいの時刻に起きている 【全国 88.8%、中央小 93.9%】 ・5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った 【全国 87.5%、中央小 92.5%】
	全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標を持っている 【全国 85.1%、中央小 74.1%】 ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む） 【全国 86.2%、中央小 78.2%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（国語B） 【全国 74.7%、中央小 68.7%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（国語A） 【全国 80.0%、中央小 74.2%】
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校段階での将来の夢や目標を持たせるために、6年生では、総合的な学習の時間において、キャリア教育に取り組んでいるところである。今後もさまざまな業種の方に来校してもらい、仕事を通じた生き方についての話を聞いたりインタビューしたりする予定であり、それらを通して将来の自分像を描く時間を設定する。 ・新聞記事を取り上げて意見交換を行うペアトーク活動やニュースをもとに簡単なスピーチを行う活動を継続していく。 	

ウ 自彊小学校（教科に関する調査結果）

科目	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
平均正答率 (%)	71%	50%	60%	47%	59%
分析結果	<p>【成果】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を考えて話したり、話し合いの参加者として質問の意図を捉えたりする問題の正答率が高かった。授業を核として、聴く力を伸ばしてきた成果だと思われる。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> 角度を求めたり、示された情報を解釈し条件に合うものを選択したりするなどの「量と測定」に関する問題の正答率が高かった。角の大きさや単位量当たりの大きさなどにおいての、基礎的な知識・技能が身に付いていると思われる。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に留意して観察する方法や、より妥当な考えをつくりだすために2つの異なる方法の実験結果を分析して考察する問題についての正答率が高かった。実験や観察の準備や基本的な考察の仕方について指導を行ってきた成果であると思われる。 <p>【課題】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> 主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く力が弱い。 目的や意図に応じて、話の中心を明確にしたり自分の考えと比べたりしながら書く力が弱い。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> 円周率の意味や百分率の求め方などについての問題の正答率が低い。 メモなどの情報とグラフを関連づけ、総数や変化に着目していることを解釈し、そこから分かったことを記述する「数学的な思考力」を高める必要がある。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して再考察する力が弱い。また、実験結果から言えることだけに言及した内容を記述する力を育む必要がある。 				
今後の対応	<p>【表現力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の主旨を捉え、条件を正しく理解し、何を問われているのかを考えることを習慣化していく。 授業のまとめにおいて、本時のキーワードを活かしながら、他者に伝わるような書き方で記述する活動を継続していく。 <p>【論理的な思考力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験の結果を正確に捉えたり、問われていることを具体的に想像したりする場を設ける。 理解したことを基に考察を行い、適切な接続詞を使用しながら筋道立てて書いたり話したりする活動を継続していく。 <p>【対話力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「聴く」「話す」「考える」ことについての態度や技能の指導を行い、他者との対話を成立させるために必要な素地を養う。 課題解決型（主体的・対話的で深い学びのある）の授業を目指し、資料や他者との「対話」を通して学びを深め、本時のキーワードを押さえてまとめさせていく。その際に、複数の情報を比較・統合したり関連づけたりする機会を意図的に設定していく。 				

自彊小学校（生活習慣や学習環境等に関する調査結果）

	<p>全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている 【全国 67.6%, 小 72.7%】 ・家で、学校の授業の予習・復習をしている 【全国 62.6%, 小 86.4%】 ・予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしている 【全国 69.9%, 小 83.3%】 ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 【全国 66.2%, 小 83.4%】 ・今住んでいる地域の行事に参加している 【全国 62.7%, 小 75.8%】
<p>分析結果</p>	<p>全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標を持っている 【全国 85.1%, 小 75.8%】 ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている 【全国 77.0%, 小 63.6%】 ・毎日、同じくらいの時刻に起きている 【全国 88.8%, 小 78.8%】 ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり30分以上、読書を読みます（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 【全国 41.1%, 小 33.3%】 ・5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う 【全国 74.4%, 小 65.1%】 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある 【全国 49.9%, 小 42.4%】 ・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える 【全国 78.4%, 小 71.2%】 ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える 【全国 64.4%, 小 59.1%】 ・算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える 【全国 78.5%, 小 71.2%】 ・今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した 【全国 70.6%, 小 59.1%】 ・理科の勉強は好きだ 【全国 83.5%, 小 62.1%】 ・理科の授業の内容はよく分かる 【全国 89.4%, 小 77.3%】 ・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えることがある 【全国 64.7%, 小 53.1%】 ・理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う 【全国 72.9%, 小 66.7%】 ・将来、理科や科学技術に係る職業に就きたい 【全国 26.1%, 小 19.7%】 ・理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている 【全国 54.5%, 小 39.4%】 ・理科の授業では、理科室で観察や実験を月1回以上行っている 【全国 89.1%, 小 74.2%】 ・観察や実験を行うことは好きだ 【全国 89.8%, 小 81.8%】 ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている 【全国 75.2%, 小 66.6%】 ・理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている 【全国 81.8%, 小 71.2%】 ・理科の問題について、すべての書く問題で最後まで書こうと努力した 【全国 77.3%, 小 59.1%】 ・5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った 【全国 87.5%, 小 51.5%】 ・5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができた 【全国 75.1%, 小 54.6%】 ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した 【全国 61.0%, 小 40.9%】 ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている 【全国 77.7%, 小 68.2%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（国語A） 【全国 80.0%, 小 74.2%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（国語B） 【全国 74.7%, 小 51.5%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（算数A） 【全国 80.3%, 小 72.7%】 ・調査問題の解答時間は十分だった（算数B） 【全国 66.0%, 小 54.6%】
	<p>今後の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で計画を立てて家庭学習に取り組む習慣をより一層確立することができるように、今後も家庭学習の内容や取組について指導を行っていく。また、家庭の協力・見届けを、懇談会やお便りなどを通して継続して依頼していく。 ・授業において、課題を解決していく過程で、よりよい方法やより相手に伝わりやすい説明を考えさせていく。その手立ての一つとして、今年度重点を置いている「対話的な学習」の充実を図る。目的や相手を明確にして対話を行うことで、学習内容の理解を深めていく。 ・授業で学習した内容が、普段の生活の中でどのように活かされているのかについて意識して単元を構想し、学習内容と実生活のつながりを想起する場面を設ける。

(2) 中学校

吉田中学校（教科に関する調査結果）

科目	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
平均正答率(%)	75%	62%	66%	47%	64%
分析結果	<p>【成果】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none">・吉中授業スタイルを大切にして、表現技法等の基本事項を常に確認する指導を継続的に行ったことにより、文章の構成を捉えて、適切な文を書くことができた。 <p><数学></p> <ul style="list-style-type: none">・公式や用語を単に覚えるのではなく、授業中にできるだけ具体を示して、事象の特徴を関連付けながら筋道立てて考察していく授業を実践したことにより、式や図形の理解が確かなものになってきた。特に、資料の傾向や特徴を読み取る力がついてきた。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の印象に残るような教材を導入に活用したり、実体験を重視した授業展開を行ったりしたことにより、事象の中にある名称を確実に理解でき、実験や実習の問題についての解答に成果が見られた。 <p>【課題】</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none">・複数の資料を読み取って、自分の言葉で記述することに課題が見られた。・古典の基礎的な知識の定着に課題が見られた。 <p><数学></p> <ul style="list-style-type: none">・関数への理解が全体的に弱い。特に反比例や一次関数の変化を考察するところに課題が見られた。 <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none">・化学式や元素記号などを単に暗記するのではなく、化学変化というのは粒子の組合せによって成り立つというような概念の定着に課題が見られた。				
今後の対応	<p>【語彙の量と質の向上と読解力の向上】（国語）</p> <ul style="list-style-type: none">・国語辞典を活用する場面を増やす。また、良書に触れる機会を増やす。・教科書の教材だけでなく、他の資料も積極的に活用する。・文章を読み取り、まとめる活動を継続的に行う。 <p>【変化と対応を資料から読み取る力の向上】（数学）</p> <ul style="list-style-type: none">・表やグラフを正確に読み取る場面を多く設定し、教科で使う用語を確実に押さえてその用語を活用しながら、事象の特徴を説明できるようにする。 <p>【思考・判断・表現力の向上】（理科）</p> <ul style="list-style-type: none">・イメージ図やモデル図などを用いて、視覚的で体験的な学習を重視する。・生徒が必要感を感じる授業を展開し、結果からの考察や学習したことを説明する活動を積極的に取り入れる。 <p>以上のことから、全教科において、以下のような授業づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none">・複数の資料から目的に応じて必要な情報を読み取り、それらをつなげて考える授業・教科用語を使って、相手に伝わるようにまとめ、書くことができる授業				

(2) 中学校

中学校については、町内1校であることから、「3 吉田町の「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」結果及び全国との比較（2）中学校」の内容と同様になるため、記載を省略する。